

2014年3月期 第1四半期 決算説明会



LEXUS IS350

トヨタ自動車株式会社
2013年8月2日

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆ 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- ◆ 為替相場の変動(主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、ロシア・ルーブル、加ドルおよび英国ポンドの相場変動)および金利変動
- ◆ 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- ◆ 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- ◆ 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制および政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいて当社の自動車事業に影響を与えるもの、または現在・将来の訴訟やその他の法的手続きの結果を含めた当社のその他の営業活動に影響を与える法律、規制および政府政策の変更など
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
- ◆ タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
- ◆ ブランド・イメージの毀損
- ◆ 仕入先への部品供給の依存
- ◆ 原材料価格の上昇
- ◆ デジタル情報技術への依存
- ◆ 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- ◆ 生産および販売面への影響を含む、自然災害による様々な影響

以上の不確実性および変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

将来予測・インサイダー取引について

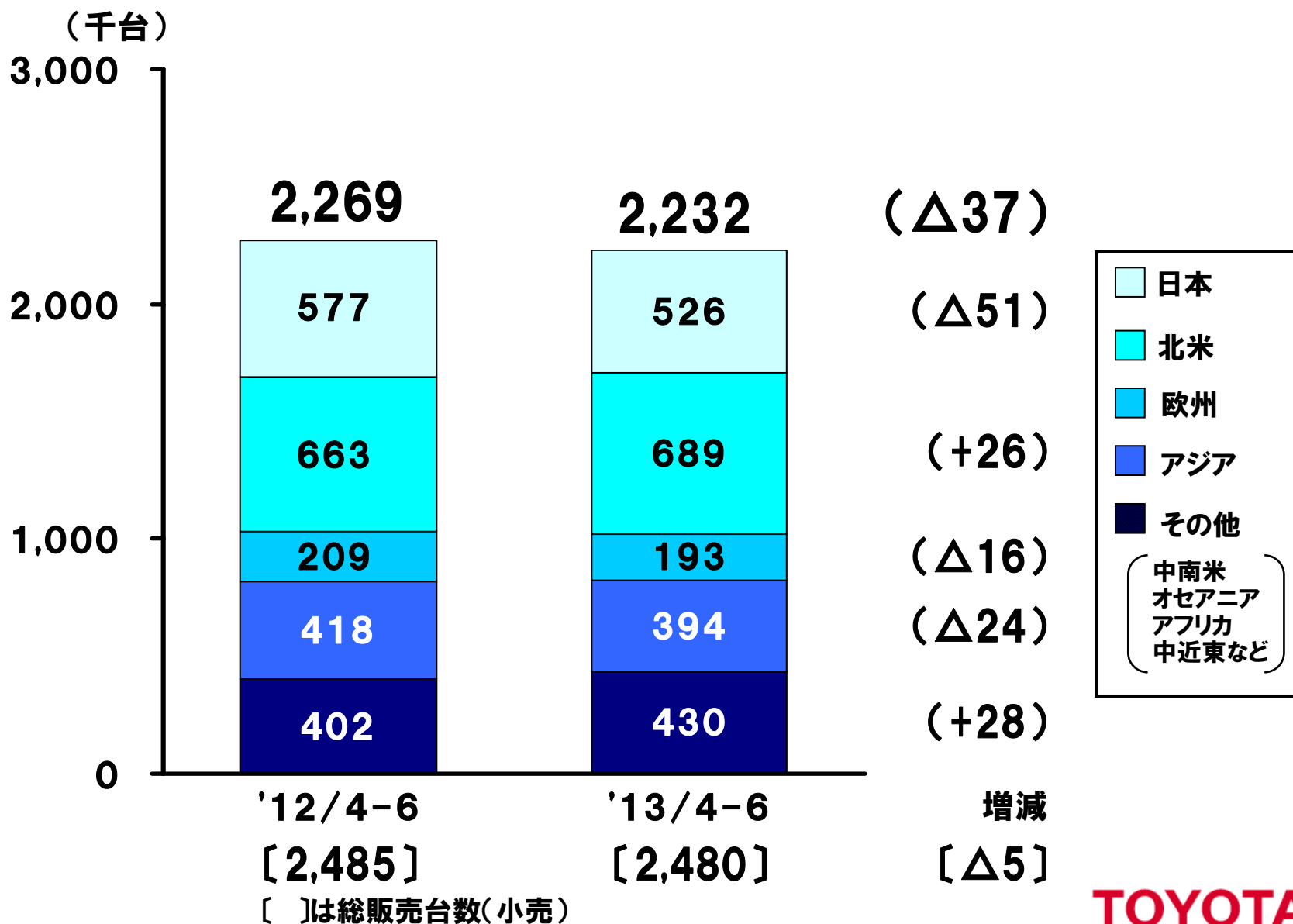
インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

2014年3月期 第1四半期決算

【実績】

連結販売台数



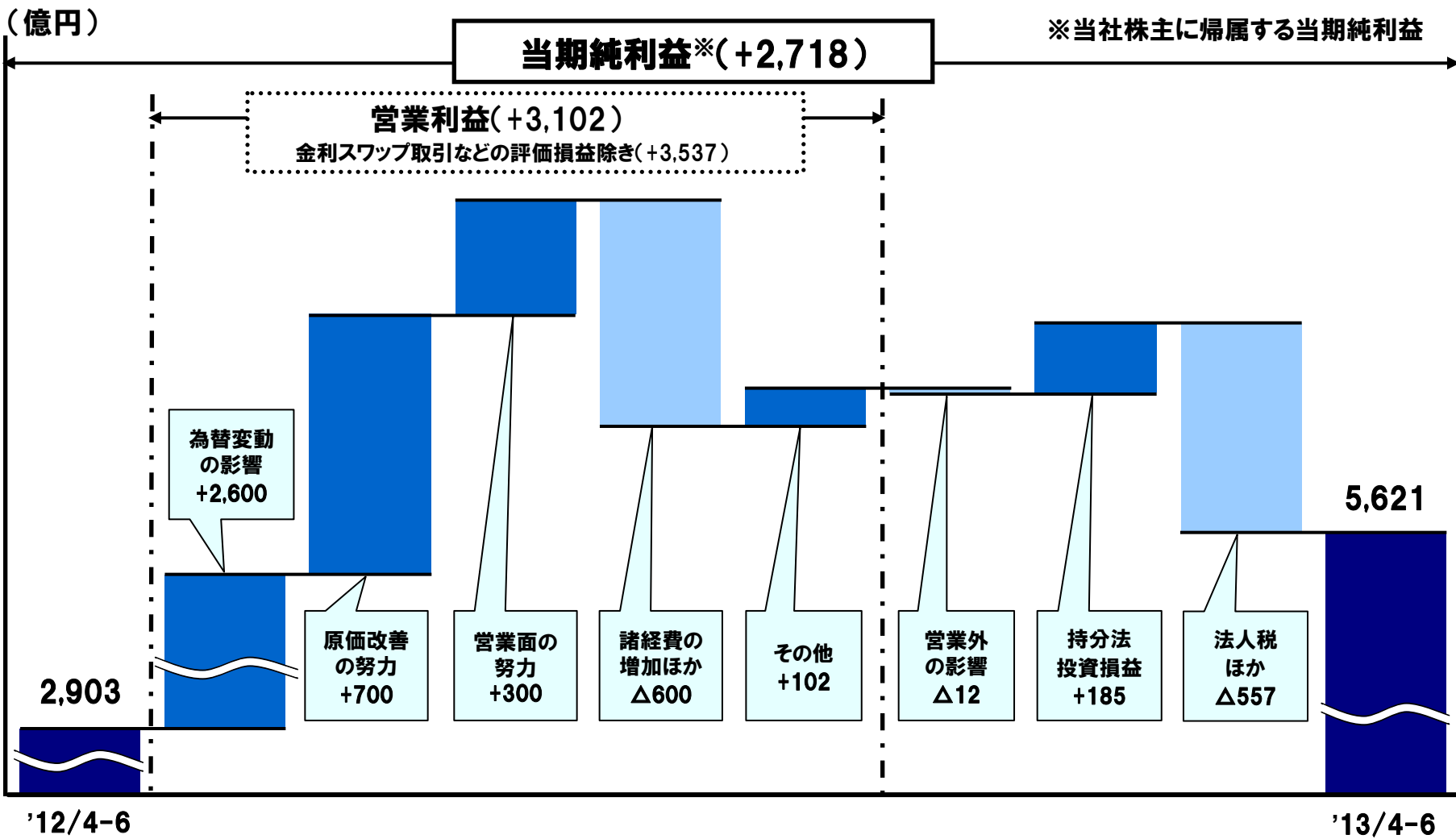
連結決算要約

(単位:億円)

	当第1四半期 ('13/4-6)	前年同期 ('12/4-6)	増減	
			増減	増減率
売上高	62,553	55,015	7,537	13.7%
営業利益	6,633	3,531	3,102	87.9%
税金等調整前 当期純利益	7,241	4,152	3,089	74.4%
当期純利益※	5,621	2,903	2,718	93.6%
為替レート	ドル	99円	80円	19円の円安
	ユーロ	129円	103円	26円の円安

※当社株主に帰属する当期純利益

連結当期純利益※ 増減要因



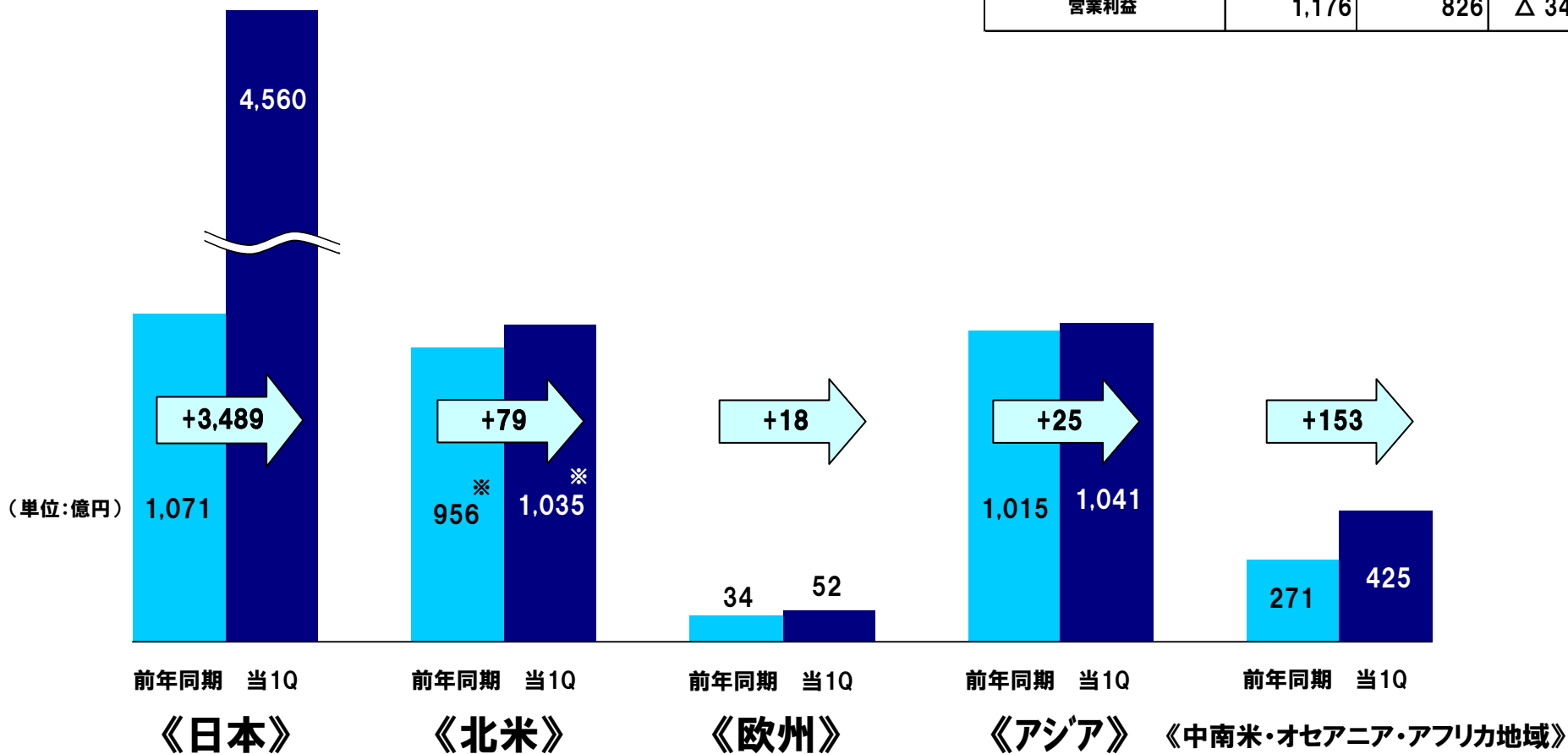
<諸経費の増加ほか 内訳>		<その他 内訳>	
研究開発費の増加.....	Δ400	減価償却費および設備関係費の増減.....	0
労務費の増加.....	Δ200	その他.....	0
		金利スワップ取引などの評価損益.....	Δ435
		海外子会社の営業利益換算差ほか.....	+537

所在地別営業利益

(※北米のみ、金利スワップ取引などの評価損益の影響を除く)

(単位:億円)

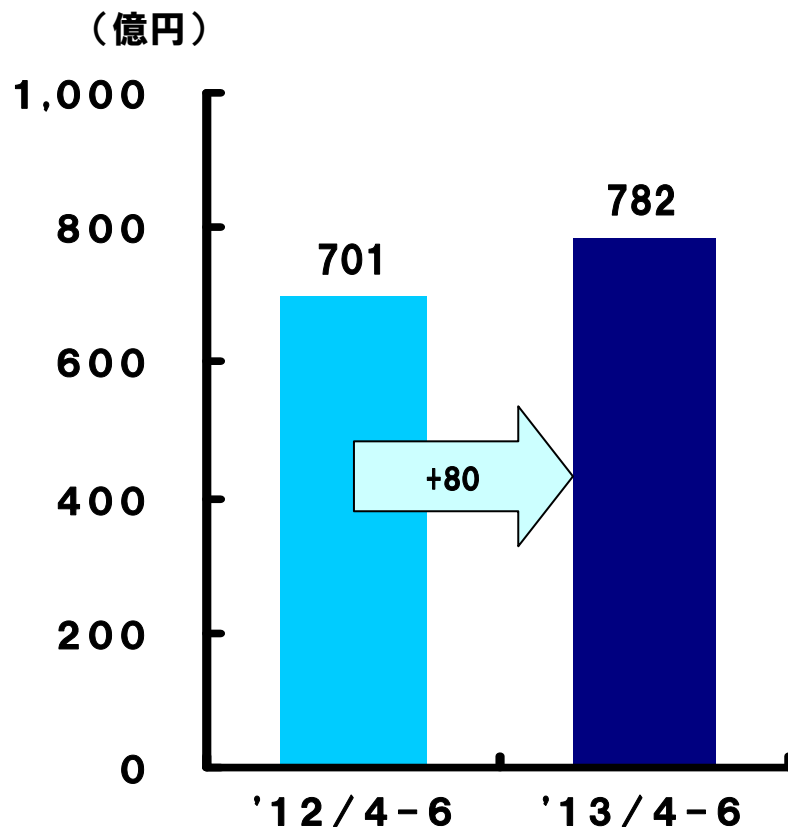
《北米》	'12/4-6	'13/4-6	増減
金利スワップ取引などの 評価損益を除いた営業利益	956	1,035	79
金利スワップ取引などの 評価損益	220	△ 209	△ 429
営業利益	1,176	826	△ 349



金融セグメント営業利益

金利スワップ取引などの
評価損益の影響を除く

9

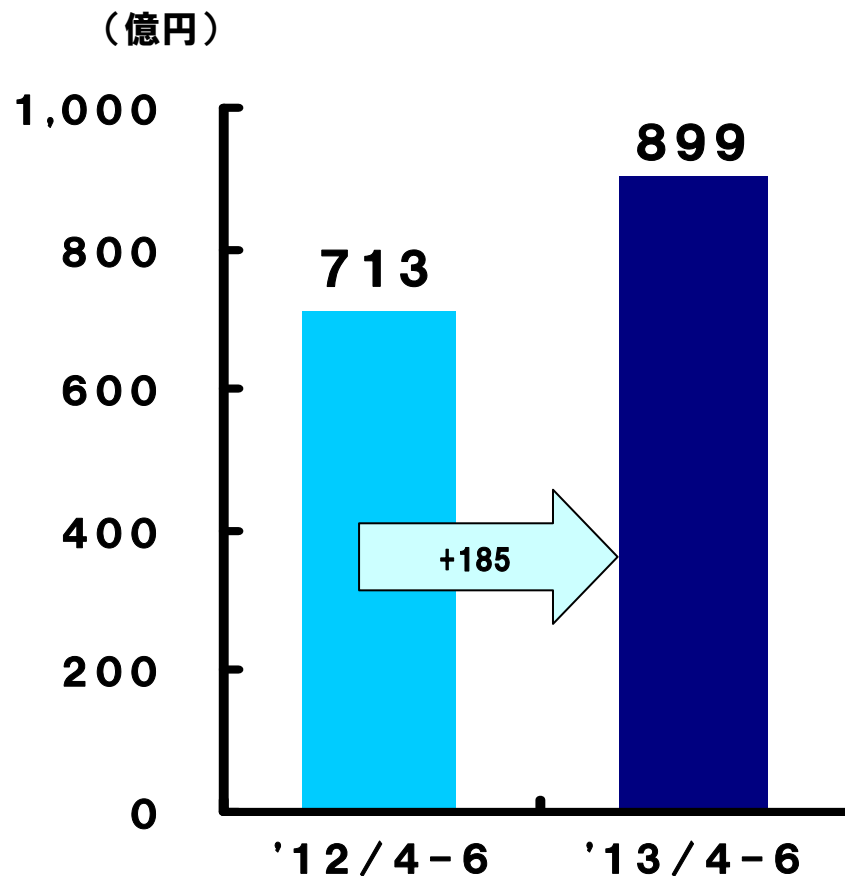


(単位:億円)

	'12/4-6	'13/4-6	増減
金利スワップ取引などの 評価損益を除いた営業利益	701	782	80
金利スワップ取引などの 評価損益	165	△ 269	△ 435
営業利益	867	512	△ 354

融資残高の増加等により、増益

持分法投資損益

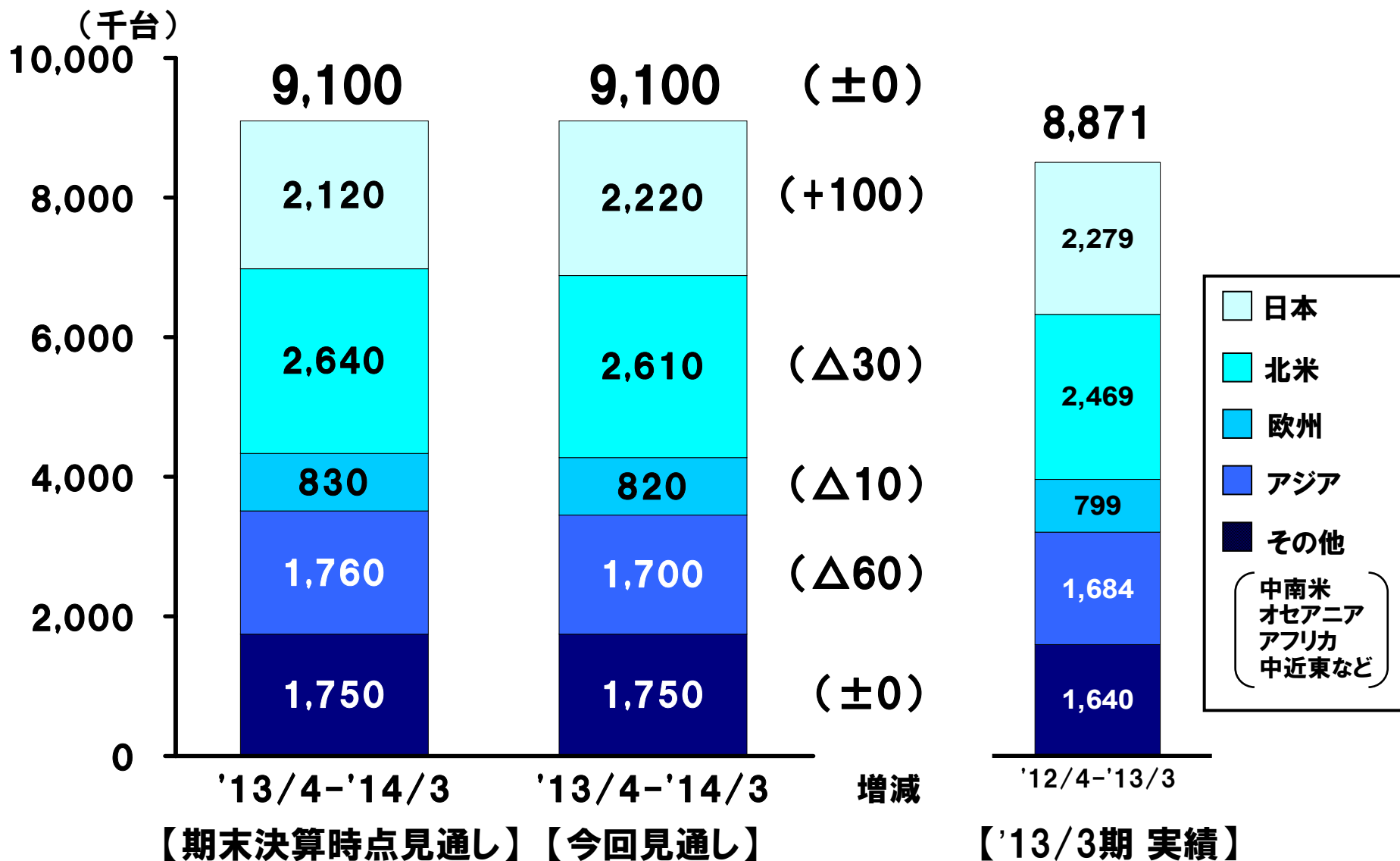


国内の持分法適用会社損益の増加により、増益

2014年3月期

【見通し】

'14年3月期見通し: 連結販売台数



'14年3月期見通し:連結決算

13

(単位:億円)

		今回見通し ('13/4-'14/3)	期末決算時点 見通し ('13/4-'14/3)	増 減	前期実績 ('12/4-'13/3)
売上高		240,000	235,000	5,000	220,641
営業利益		19,400	18,000	1,400	13,208
税金等調整前 当期純利益		20,300	18,900	1,400	14,036
当期純利益 ^{※1}		14,800	13,700	1,100	9,621
為替レート	ドル	92円 ^{※2}	90円	2円の円安	83円
	ユーロ	122円 ^{※2}	120円	2円の円安	107円

※1 当社株主に帰属する当期純利益

※2 '13年7月以降の前提為替レート:ドル90円、ユーロ120円

TOYOTA

'14年3月期見通し：設備投資、減価償却費、研究開発費

14

(単位：億円)

	今回見通し ('13/4-'14/3)	期末決算時点 見通し ('13/4-'14/3)	増 減	前期実績 ('12/4-'13/3)
設備投資	9,200	9,100	100	8,527
減価償却費	7,600	7,500	100	7,273
研究開発費	9,000	8,900	100	8,074

2014年3月期 第1四半期 決算説明会



Auris Hybrid
Touring Sports

トヨタ自動車株式会社
2013年8月2日

【ご参考】

単独決算要約(日本基準)

16

(単位:億円)

	当第1四半期 ('13/4-6)	前年同期 ('12/4-6)	増 減	
			増減額	増減率
売上高	26,930	24,808	2,121	8.6%
営業利益	3,426	188	3,237	-
経常利益	6,340	2,415	3,925	162.5%
当期純利益	4,827	1,888	2,938	155.6%

【ご参考】

'14年3月期見通し:単独決算

(単位:億円)

	今回見通し ('13/4-'14/3)	期末決算時点 見通し ('13/4-'14/3)	増 減
売上高	100,000	98,000	2,000
営業利益	7,900	6,000	1,900
経常利益	14,000	12,100	1,900
当期純利益	11,100	9,900	1,200

【ご参考】

'14年3月期見通し:台数

(単位:万台)

		'14/3期見通し ('13/4-'14/3)	期末決算時点 見通し ('13/4-'14/3)	増減	
トヨタ・ レクサス	生産	国内	330	325	5
		海外	575	580	△5
		合計	905 [890]	905	0
	販売	国内(小売)	155	145	10
		海外	755	765	△10
		合計	910 [895]	910	0
	輸出		180	185	△5
グループ総販売*		1,010 [996]	1,010	0	

※ダイハツ、日野ブランドを含む
[]は2013年暦年ベースの台数